

◆ あとがき ◆

腎代替療法は、腎臓の機能が期待できない末期腎不全患者の命を守る、最も重要な治療法の1つである。黎明期の透析療法は、救命治療という点を中心に発展したが、その後、透析治療も確立し慢性治療の1つとして、普通の治療法になりつつある。しかし、高齢の患者が増え、多くの合併症を持つ透析患者が増え新たな問題も生じてきた。腎代替療法は、尿毒物質あるいは老廃物を除去するという点で考えると、薬剤治療での効率と比べて飛躍的に高い効果を持つ治療法であるが、一方で、体外循環療法の1つでありリスクの高い治療法でもある。血液透析治療は、安全で当たり前という考え方を患者・家族や一般人が増えてきていることは、透析医療に対するあまい幻想が蔓延している状況であり、注意すべき危険な状態ともいえる。また、近年、高齢者ではフレイル、サルコペニアなど透析に伴う栄養状態や運動不足など、生命予後に重要な意味を持つ病態がよく認められる。本特集では、このような背景を有する末期腎不全患者に対する、現代における最適な腎代替療法について理解を深めるために、基本的な事項から最新の情報まで読者の知識を紹介していただいた。特に透析患者を管理するために、臨床医が知っておくべき最新情報や安全に透析医療を継続するためのさまざまな課題について解説をいただいた。現代の透析医療のトップランナーの素晴らしい情報を楽しんで確認していただきたいと思う。透析医療が、安全で災害時にも対応できる素晴らしい環境を維持されている、個々の専門家の絶え間ない努力に敬意を表したい。本書の内容が、読者の皆様のお役にたれることができれば、幸いである。

平和 伸仁

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1
本郷宮田ビル5階 ☎ 03-3814-8541
メディアカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9
アド 第1長谷川ビル2階 ☎ 03-5776-1853 (代)
文京 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6
メディカル 本郷大原ビル6階 ☎ 03-3817-8036 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第99巻第5号(11月号)

特集 内因性調節因子と治療薬による体液量コントロール

序文

ホメオスタシスと内因性調節因子……………河原克雅 総論

バソプレシン：合成と分泌調節……………上野啓通・他
心不全と体液量コントロール……………池杉駿生・他
腎不全における体液貯留一病態生理から評価・治療まで

……………宮崎真理子
腎除神経と体液量コントロール……………北田研人 各論

浸透圧濃度調節軸による AQP2 活性化の分子機構
……………長岡可楠子・他

腎性尿崩症と水バランス……………藤丸拓也
腎うっ血の病態生理と薬物治療……………黒瀬 亮・他

体液調節と SGLT2 阻害薬……………猪阪善隆
熱中症と塩分摂取……………長浜正彦

Na 喪失症：高齢者腎尿細管 Na 輸送……………柴田 茂
腎移植患者における体液量増加と利尿薬の意義……………辻田 誠

トピックス

体液量維持に必要な塩味センサーの分子機構・成川真隆・他
腎臓病と利尿薬 (I)：サイアザイドの出番……………須佐紘一郎

腎臓病と利尿薬 (II)：水利尿薬の出番……………平和伸仁
HIV 誘発低 Na 血症の分子機序……………岡本好司

セリンプロテアーゼによる ENaC 活性化機序—尿蛋白中の
セリンプロテアーゼは内因性の体液貯留因子となる

……………柿添 豊

連載 腎臓学 100 年史

第8回 糖尿病性腎症：インスリンと糖尿病治療薬
……………猪阪善隆

名誉主幹／酒井 紀 秋澤忠男 飯野靖彦
編集顧問／五十嵐隆 遠藤 仁 小椋陽介 川村哲也

木村健二郎 小山哲夫 酒井聡一
坂井建雄 佐中 孜 塩之入洋 高市憲明

堀江重郎 細谷龍男 矢崎恒忠 山口 裕
山田 明 竜崎崇和

編集主幹／有村義宏 小林修三 新田孝作
編集委員／青柳一正 安西尚彦 安藤亮一 伊藤秀一

河原克雅 菅野義彦 清水 章 高橋公太
高橋 悟 坪井伸夫 長田道夫 服部元史
平和伸仁 山野純一 本田浩一 横尾 隆

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

第99巻第4号
2025年10月25日発行
定価 3,190 円(本体 2,900 円 + 税 10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社
〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16
URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>
編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649
E-mail: jin@tokyo-igakusha.co.jp
営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629
E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2026 年年間予約購読料

①2026 年 1 月号～2026 年 12 月号 + 増刊号：
定価 52,800 円(本体 48,000 円 + 税 10%)
②2026 年 4 月号～2027 年 3 月号 + 増刊号：
定価 52,800 円(本体 48,000 円 + 税 10%)
※前金予約購入に限り送料無料。